

2020年(令和2年)5月28日(木)



蛍が乱舞

三島の源兵衛川

三島市の市街地を流れる源兵衛川で、蛍が飛び交い始めた。辺りが暗くなる午後7時過ぎから川沿いの草むらなどで1匹、2匹と淡い緑の光を発し始め、宵が深まる午後8時ごろになると、水面をほのかに照らす一写真。6月中旬まで楽しめる。

市立公園楽寿園にある小浜

池の湧水が水源の源兵衛川は全長が1.5キロの用水路。川の中にある飛び石を歩こうとすると、踏み潰しそうになるほどの「ゲンジボタル」が生息する。

源兵衛川で2009年から蛍を観察するNPO法人、グラウンドワーク三島のインストラクター、山口東司さん(78)によると、今年は4月29日に初観測。5月26日は99匹を見つけ、26日までに累計で1195匹を確認した。

「好天で風がなく、気温が20～21度、湿度が70～80%の夜にたくさん出る。環境教育で川にごみを捨てたり、蛍を捕ったりする人が減ったおかげで以前に比べて数が増えた」と言い、「自然のバロメーターが蛍。川が環境がよくなる様子が分かる」と強調する。

市内で6月7、13日に予定されていた恒例のボタルまつりは、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

【石川宏】